

2021 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---|--------------|-------------|---|------------------|-------------------------|---------------|
| 学 科 | 臨床工学技士科(夜間部) | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
| 科 目 名 | 公衆衛生学 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年次 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | |
| 担 当 教 員 | 北野富美雄 | 実務経験とその関連資格 | 八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、服薬指導(入院・外来) 薬品管理 薬品情報提供 新薬治験・研究 製剤(院内薬品) 医薬品の再評価・審査などに従事 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 公衆衛生を履修することで、「いかに人々の健康を保持できるか 健康を増進できるか 疾病を予防できるか 衛生を改善できるか」を正しく理解することができる。将来の医療従事者にとって役に立つ。公衆衛生学は国家試験科目であるので、国家資格取得に寄与できる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 本試験(記述形式) 70% 出席点 20% 授業態度 10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 最新 臨床検査学講座 「公衆衛生学」 医歯薬出版株式会社 2018年 臨床工学技士国家試験過去問題 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 前回の問題を確認してほしい。次回(スケジュール通り)のところを予習してほしい | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 環境保健 地球環境問題 公害 大気汚染 水質汚濁 環境アセスメント 環境モニタリングなどが理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 環境保健の予習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | オゾン層の破壊、地球温暖化、砂漠化、酸性雨など地球環境の破壊の現状の理解、日本では公害、公害対策はなにか、環境対策 環境モニタリング、環境アセスメント 法律規制などについて学ぶ | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生活環境 上水 下水 食中毒 食品衛生が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 環境保健の復習と生活環境の予習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上水、下水の水質検査、現状 上水の改善 下水道の普及対策について 食中毒の種類、感染型 毒素型 食中毒の現状、食中毒対策である食品衛生活動について学ぶ | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 職業病 物理的 化学的 作業条件 産業保健が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 生活環境の復習と職業病 産業保健の予習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 職業病について 労働災害の対策 産業保健 労働安全衛生法、作業環境管理 作業管理 健康管理 労働基準法 労働衛生 トータル・ヘルスプロモーションについて学ぶ | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 感染症 予防接種が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 産業保健 職業病の復習と感染症 予防接種の予習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 感染症法1類～5類感染症 対策 検疫感染症 新興感染症 指定感染症 再興感染症 特定感染症指定医療機関 予防接種の種類 弱毒 不活化 トキソイド DPT MRワクチンについて学ぶ | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 衛生統計 人口動態統計 人口静態統計が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 感染症、予防接種の復習と衛生統計の予習 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 衛生行政 出生、死亡、離婚 婚姻 死産 など人口動態統計 人口静態統計(国勢調査) 年齢別人口 人口ピラミッド 国民生活基礎調査 患者調査について学ぶ | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|---|------------------|------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 国際保健 WHO活動が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 衛生統計の復習と国際保健の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | WHO憲章 健康の定義 WHOの活動 アルマ・アタ憲章 プライマリ・ヘルス・ケア オタワ憲章 ヘルス・プロモーション 健康日本21 健康増進法 成人予防 わが国の死因順位について学ぶ | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 疫学が理解できる。 | 公衆衛生学の教科書と配布プリント | 国際保健の復習と疫学の予習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 全数調査 標本調査 バイアス 単純無作為抽出法 層化抽出法 記述疫学 分析疫学 コホート研究 症例対照研究 介入研究 相対危険度 寄与危険度 罹患率 死亡率 有病率について学ぶ | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 総合演習を行い、これまでの授業の内容について説明することができるようにする。 | 配布プリント | これまでの授業についての要点をまとめておく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合演習を行い、これまでの授業の復習と重要ポイントのまとめ、および解説を行う。 | | |
| 第9回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第10回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第11回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第12回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第13回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第14回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第15回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |